



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月6日

上場取引所 東

上場会社名 イートアンド株式会社
 コード番号 2882 URL <http://www.eat-and.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 文野 直樹
 (氏名) 植月 剛

TEL 03-6402-3961

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	15,331	2.4	151	△77.2	175	△73.8	53	△86.0
26年3月期第3四半期	14,965	0.8	662	1.1	669	3.3	382	30.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	12.26	12.10
26年3月期第3四半期	100.40	99.78

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
27年3月期第3四半期	11,971		4,362		36.4	994.38
26年3月期	10,498		4,394		41.8	1,001.83

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 4,355百万円 26年3月期 4,387百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	7.50	—	12.50	20.00
27年3月期	—	7.50	—		
27年3月期(予想)				7.50	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 26年3月期期末配当金の内訳 普通配当 7円50銭 記念配当 5円00銭

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,800	3.7	267	△71.9	302	△68.1	73	△83.3	16.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	4,380,945 株	26年3月期	4,380,245 株
27年3月期3Q	331 株	26年3月期	274 株
27年3月期3Q	4,379,939 株	26年3月期3Q	3,814,271 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、金融市場や証券市場は好調な推移を見せましたが、一般の消費が振るわず、GDPの年間成長率がマイナスと予測されるなど、好況感が後退しました。

一般の消費生活におきましては、消費税増税の影響がなお尾を引いており、消費マインドは雇用環境の改善や冬季賞与の増加などで下げ止まりの動きが見られるものの、冷え込んだ状態が続いております。

食品業界におきましては、低価格品といわゆるプレミアム品の二極化が続いております。また、年末近くになって食品への異物混入の報道が相次ぎましたが、現時点では当事者以外への影響は軽微と見られます。

このような状況下、当社におきましては、大阪王将の創業45周年キャンペーンや、その一環としてのプレミアムメニュー販売、および冷凍食品の新製品ならびに季節商品の拡販に努めました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の当社の業績は、消費税増税後の消費低迷および大雨・大雪などの全国的な天候不順の影響を受けましたが、昨年8月より販売を開始した『大阪王将 羽根つき餃子』が順調な売上を計上し、売上高が153億31百万円（前年同四半期比2.4%増）と増収であった一方、原材料費、水道光熱費、人件費の上昇、および首都圏での認知度向上を企図した戦略的な広告宣伝の投下、ならびに消費税率改定にともなうメニューブック等の改廃や販促物の投入等の施策を図ったため、販売費及び一般管理費52億17百万円（同13.8%増）を計上したことにより、営業利益が1億51百万円（同77.2%減）、経常利益が1億75百万円（同73.8%減）、四半期純利益は53百万円（同86.0%減）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

①外食事業

外食事業におきましては、老朽化店舗の改装、新業態店舗開業に努めたほか、大阪王将の創業45周年キャンペーンを展開し、主力商品である餃子やプレミアムメニューの拡販に注力しました。

なお、当第3四半期累計期間におきましては、加盟店36店舗（うち海外7店舗）、直営店5店舗の計41店舗を出店した一方、加盟店20店舗（うち海外2店舗）、直営店4店舗の計24店舗を閉店した結果、当第3四半期末店舗数は、加盟店405店舗（うち海外24店舗）、直営店39店舗の計444店舗（うち海外24店舗）となっております。

また、運営形態変更に伴い4店舗を直営店から加盟店、4店舗を加盟店から直営店へと変更しております。

以上の結果、外食事業における当第3四半期累計期間の売上高は、82億22百万円（前年同四半期比1.9%増）となりました。

なお、外食事業の店舗数の内訳は以下のとおりであります。

業 態 名	前事業年度末 (平成26年3月31日)			当第3四半期会計期間末 (平成26年12月31日)		
	直営店	加盟店	計	直営店	加盟店	計
大阪王将	22	332	354	22	343	365
ラーメン	11	33	44	14	33	47
よってこや	3	21	24	3	19	22
太陽のトマト麺	7	12	19	9	14	23
その他ラーメン	1	0	1	2	0	2
その他業態	5	5	10	3	5	8
コートロザリアン	1	3	4	1	3	4
シノワーズ厨花	1	1	2	1	1	2
その他自社業態	3	1	4	1	1	2
海 外	0	19	19	0	24	24
合 計	38	389	427	39	405	444

②食料品販売事業

食料品販売事業におきましては、主力商品である冷凍焼餃子を、羽根つきでより調理が簡便なものに大幅にリニューアルし、テレビコマーシャルなどを通じて新たな価値の訴求を図るとともに、冬季に需要が高まる冷凍水餃子の拡販に努めました。

以上の結果、食料品販売事業における当第3四半期累計期間の売上高は、71億9百万円（前年同四半期比3.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期会計期間末の総資産の残高は、前事業年度末より14億73百万円（前事業年度比14.0%）増加し、119億71百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末より10億54百万円（前事業年度比19.3%）増加し、65億8百万円となりました。主な要因は、売掛金、商品及び製品、前払費用の増加および現金及び預金の減少によるものであります。

固定資産は、前事業年度末より4億18百万円（前事業年度比8.3%）増加し、54億62百万円となりました。主な要因は、直営店新規出店および関西工場、関東工場の冷凍食品製造設備増強に伴う有形固定資産の取得によるものであります。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末の負債の残高は、前事業年度末より15億5百万円（前事業年度比24.7%）増加し、76億9百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末より16億11百万円（前事業年度比32.9%）増加し、65億4百万円となりました。主な要因は、買掛金、短期借入金、未払金の増加によるものであります。

固定負債は、前事業年度末より1億6百万円（前事業年度比8.8%）減少し、11億4百万円となりました。主な要因は、長期借入金の返済による減少であります。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末の純資産の残高は、前事業年度末より32百万円（前事業年度比0.7%）減少し、43億62百万円となりました。主な要因は、配当による剰余金の処分によるものであります。

この結果、自己資本比率は36.4%（前事業年度末41.8%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回発表（平成26年5月9日付「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」）いたしました通期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、修正しております。

詳細につきましては、本日（平成27年2月6日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社の税金費用については、原則的な方法により計算しておりましたが、四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期会計期間より当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実行税率を乗じて計算する方法に変更しております。なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,336,455	997,175
売掛金	3,179,171	4,074,848
商品及び製品	479,254	630,296
原材料及び貯蔵品	152,908	263,522
前払費用	169,844	294,142
繰延税金資産	55,334	55,334
その他	81,572	193,673
流動資産合計	5,454,540	6,508,992
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,097,287	2,179,244
土地	1,089,772	1,089,772
その他（純額）	775,973	880,531
有形固定資産合計	3,963,034	4,149,548
無形固定資産	58,304	147,683
投資その他の資産		
差入保証金	528,569	560,216
繰延税金資産	104,099	103,422
その他	407,253	519,232
貸倒引当金	△17,534	△17,534
投資その他の資産合計	1,022,387	1,165,337
固定資産合計	5,043,726	5,462,569
資産合計	10,498,267	11,971,562

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,827,671	2,586,032
短期借入金	840,000	1,425,000
1年内返済予定の長期借入金	199,812	136,826
未払金	983,227	1,357,244
未払費用	235,700	252,540
未払法人税等	153,450	89,081
賞与引当金	102,136	35,885
売上割戻引当金	349,302	412,825
その他	201,909	209,288
流動負債合計	4,893,209	6,504,725
固定負債		
長期借入金	86,873	-
退職給付引当金	82,216	88,940
役員退職慰労引当金	302,450	316,770
その他	738,947	698,633
固定負債合計	1,210,486	1,104,344
負債合計	6,103,696	7,609,069
純資産の部		
株主資本		
資本金	907,239	907,627
資本剰余金	839,675	840,063
利益剰余金	2,640,626	2,606,737
自己株式	△293	△386
株主資本合計	4,387,248	4,354,042
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	728	1,952
評価・換算差額等合計	728	1,952
新株予約権	6,593	6,498
純資産合計	4,394,570	4,362,492
負債純資産合計	10,498,267	11,971,562

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	14,965,462	15,331,913
売上原価	9,716,647	9,962,740
売上総利益	5,248,814	5,369,173
販売費及び一般管理費	4,586,121	5,217,810
営業利益	662,692	151,362
営業外収益		
受取利息	978	1,140
受取配当金	65	354
受取手数料	4,598	4,154
受取保険金	-	25,274
貸倒引当金戻入額	11,483	-
その他	1,976	2,073
営業外収益合計	19,102	32,998
営業外費用		
支払利息	7,773	8,284
株式公開費用	4,000	-
その他	880	972
営業外費用合計	12,653	9,257
経常利益	669,141	175,103
特別利益		
新株予約権戻入益	6,230	-
特別利益合計	6,230	-
特別損失		
固定資産除却損	6,424	22,212
店舗閉鎖損失	3,352	4,974
特別損失合計	9,776	27,187
税引前四半期純利益	665,594	147,916
法人税等	282,644	94,206
四半期純利益	382,950	53,709

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上 額(注)2
	外食事業	食料品 販売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	8,069,126	6,896,335	14,965,462	14,965,462	—	14,965,462
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,069,126	6,896,335	14,965,462	14,965,462	—	14,965,462
セグメント利益	540,053	212,541	752,594	752,594	△89,901	662,692

(注) 1. 当第3四半期累計期間におけるセグメント利益の調整額△89,901千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上 額(注)2
	外食事業	食料品 販売事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	8,222,411	7,109,501	15,331,913	15,331,913	—	15,331,913
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,222,411	7,109,501	15,331,913	15,331,913	—	15,331,913
セグメント利益	157,811	100,152	257,964	257,964	△106,601	151,362

(注) 1. 当第3四半期累計期間におけるセグメント利益の調整額△106,601千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。